

令和5年度 多賀城高等学校 学校運営方針

教 育 目 標

1 知性の伸長(さとく)

自己のもつ可能性を見いだしてその伸長と実現を図るとともに、真・善・美を追究し、常に広く調和のとれた教養を身につけるよう努める。

2 人格の尊重(ゆたかに)

正しく自己を愛し、他をも愛する豊かな愛情を育て、社会に奉仕する精神を養い、互いに信頼しあえる誠実な人となるよう努める。

3 心身の健康(たくましく)

心身の健康こそは全ての生活の根源である。清潔で健康な生活を送ることを心がけるとともに進んで心身を鍛え、明るく清くどんな困難にあってもくじけない強固な意志力と強靱な体力を身につけるよう努める。

I 経営方針

21 世紀型学力を培い、防災・減災・伝災学習のパイロットスクールとしてSSHやユネスコスクールに取り組み、「新しい価値を創造する力」「多角的に考え表現する力」「問題解決のために果敢に挑戦する力」を育成し、社会の使命に応える学校を目指す。

また、教育課題への確な対処ができるよう、全職員協力のもと業務の効率化を図り、職員個々が自らの力を発揮できる環境をつくる。

II 教育活動上の重点目標

1 SSH 事業の推進

SSH 第 2 期指定を受け東日本大震災の被災地にある学校として、災害を科学的かつ、より地域に密着した探究活動を通して、「創造する力」「表現する力」「挑戦する力」を醸成し、実働型の科学技術人材の育成を図る。

2 学習・進路指導の充実

新学習指導要領に則った生徒の確かな学力の向上を目指すために、模試データ等の積極活用による確かな学力分析をもとにした授業改善を図り、明確かつ適切な進路指導により生徒自身が自走できる学習習慣を確立させ、進路目標を実現させる。

3 生徒指導・教育相談体制の充実

規範意識、自尊意識の涵養に努め、コミュニケーション力と礼節を意識させ社会性の向上を図る。また、SC・SSW 等を活用して、きめ細かな生徒支援を可能とする教育相談体制を整え、生徒が安心・安全な学校生活を送ることができる環境を維持する。

4 防災・減災・伝災教育の充実

学校としての危機管理体制を整えながら、防災教育のパイロットスクールとして多賀城高校が担っている社会的役割を認識し、外部への発信に努める。

全校を挙げ防災・減災・伝災活動に寄与し「人の命とくらしを守る」人材の育成を図る。

5 ICT 教育環境の充実

ICT 教育推進校として教職員の指導力向上に努め、生徒の情報リテラシー、ICT 活用能力の伸長を目指し、IT 化社会に適應する力を養う。